

10. 保健・衛生

1

医療施設数、医療関係従事者数

医療施設調査 各年10月1日現在
 医師・歯科医師・薬剤師調査各隔年12月31日現在

区 分		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16
医療施設	一般病院	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	一般診療所	24	24	24	24	22	22	20	20	20	19
	歯科診療所	12	12	12	15	16	15	15	15	15	15
病床数	一般病院	178	178	178	178	198	198	198	208	198	236
	一般診療所	109	110	110	110	69	53	53	53	44	40
	歯科診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医 師		—	37	—	35	—	32	31	31	—	32
歯 科 医 師		—	12	—	15	—	17	17	16	—	17
薬 剤 師		—	20	—	32	—	38	38	42	—	47

(注) 医師・歯科医師・薬剤師については、従業地による。
 医師・歯科医師・薬剤師調査は2年ごとの調査による。

資料：茨城県保健福祉部厚生総務課

2

休日・夜間診療状況

(単位：日、人)

区 分		平成13年度	14	15	16	17	
下妻市 夜間応急 診療所	診療日数	119	119	119	120	120	
	内 科	221	237	202	134	129	
		小児科	594	670	116	68	65
		その他	—	—	—	—	—
		計	815	907	318	202	194
	一日平均	6.8	7.6	2.7	1.7	1.6	
在宅制 当番制	診療日数	71	70	70	70	70	
	外 科	123	91	82	120	142	
		内 科	767	725	683	612	532
		小児科	258	281	292	155	379
		その他	110	84	116	95	64
	計	1,258	1,181	1,173	982	1,117	
一日平均	17.7	16.9	16.8	14	16		

資料：保健センター



全国における茨城県の医療施設数・
医療関係従事者数状況

茨城県の一般病院数は、10万人あたり6.1カ所
 全国47都道府県中27位（平成16年10月1日現在）
 一般診療所数は、10万人あたり54.7カ所
 全国47都道府県中46位（平成16年10月1日現在）
 医師数は、10万人あたり150.0人
 全国47都道府県中46位（平成16年12月31日現在）
 歯科医師数は、10万人あたり58.4人
 全国47都道府県中36位（平成16年12月31日現在）
 薬局数は、10万人あたり36.1人
 全国47都道府県中35位（平成17年3月31日現在）

資料:「茨城早わかり」平成18年3月



3

予 防 接 種 実 施 状 況

(単位：人)

区 分	平成11年度	12	13	14	15	16	17	
三種混合	対象者	1,603	1,636	1,624	1,633	1,565	1,480	1,496 238
	接種者	1,651	1,562	1,575	1,542	1,119	1,427	1,385 205
二種混合	対象者	435	428	408	396	408	402	365 105
	接種者	409	420	393	387	400	393	360 104
日本脳炎	対象者	2,043	1,988	2,072	1,969	2,011	1,962	1,900 209
	接種者	1,900	1,692	1,724	1,683	1,640	1,678	878 73
風 疹	対象者	1,289	698	657	434	398	394	364 53
	接種者	786	574	603	227	317	378	538 64
麻 疹	対象者	444	387	581	454	378	394	364 53
	接種者	363	309	458	383	411	395	408 47
ポリオワクチン	対象者	837	823	793	918	1,108	805	681 162
	接種者	794	731	737	773	1,087	717	719 147
インフルエンザ	対象者	—	—	6,753	6,921	7,033	6,962	7,073 2,013
	接種者	—	—	2,660	3,508	3,416	3,467	3,874 968

※平成17年度は、上段旧下妻、下段旧千代川

※麻疹は、14年度より医師会委託にて個別で実施

※インフルエンザは、13年度より高齢者（66歳以上）を対象に接種

資料：保健センター

4

結核検診実施状況

(単位：人)

区分		平成11年度	12	13	14	15	16	17
一般	ツベルクリン (3ヶ月～4歳)	436	341	385	467	386	465	—
	B C G (3ヶ月～4歳)	402	317	365	437	368	450	375 75
	レントゲン (18歳以上)	7,468	7,477	7,575	7,587	6,855	6,397	6,721 1,516
	精密検査 (18歳以上)	10	18	15	8	4	1	5 0
学校	ツベルクリン	1,116	1,166	1,153	1,070	—	—	—
	B C G	417	407	350	352	—	—	—

※学校でのツベルクリン・BCGは平成15年度より中止

資料：保健センター

5

がん検診実施状況

(単位：人)

区分		平成11年度	12	13	14	15	16	17	
胃がん	受診者	1,746	1,722	1,722	1,801	1,784	1,612	1,707 629	
	要精密検査者	172	155	147	159	171	138	166 63	
	率	9.9	9.0	8.5	8.8	9.6	8.6	9.7 10.0	
大腸がん	受診者	2,099	2,082	2,200	2,319	2,364	2,221	2,303 750	
	要精密検査者	154	153	155	160	171	149	159 44	
	率	7.3	7.3	7.0	6.9	7.2	6.7	6.9 5.9	
肺がん	胸部レントゲン	受診者	6,537	6,508	6,554	6,597	5,965	5,545	5,788 1,317
		要精密検査者	265	261	331	235	163	136	141 9
		率	4.1	4.0	5.1	3.6	2.7	2.5	2.4 0.7
	喀痰細胞診	受診者	192	191	221	234	188	169	183 24
		要精密検査者	1	1	—	1	1	1	1 0
		率	0.5	0.5	—	0.4	0.5	0.6	0.5 —
前立腺がん	受診者	768	747	939	898	880	816	744 196	
	要精密検査者	72	88	91	70	74	42	46 8	
	率	9.4	11.8	9.7	7.8	8.4	5.1	6.2 4.1	
子宮がん	受診者	694	678	798	787	876	752	813 256	
	要精密検査者	9	10	5	8	10	12	12 4	
	率	1.3	1.5	0.6	1.0	1.1	1.6	1.5 1.6	
乳がん	受診者	590	552	673	697	755	525	905	
	要精密検査者	32	30	15	17	21	14	40	
	率	5.4	5.4	2.2	2.4	2.8	2.7	4.4	

※平成17年度は、上段旧下妻、下段旧千代川

資料：保健センター

※各検診は、集団検診であり医療機関検診を除く。

※乳がん検診は、25歳以上集団検診と50歳以上集団検診の合計とする。また、検診は指触診のみとする。

※平成16年から、30歳以上の方を対象とし、年齢によって超音波検査、エックス線検査を実施している。

但し、旧千代川はエックス線検査は未実施の為、平成17年度は超音波検査のみ計上してある。

6

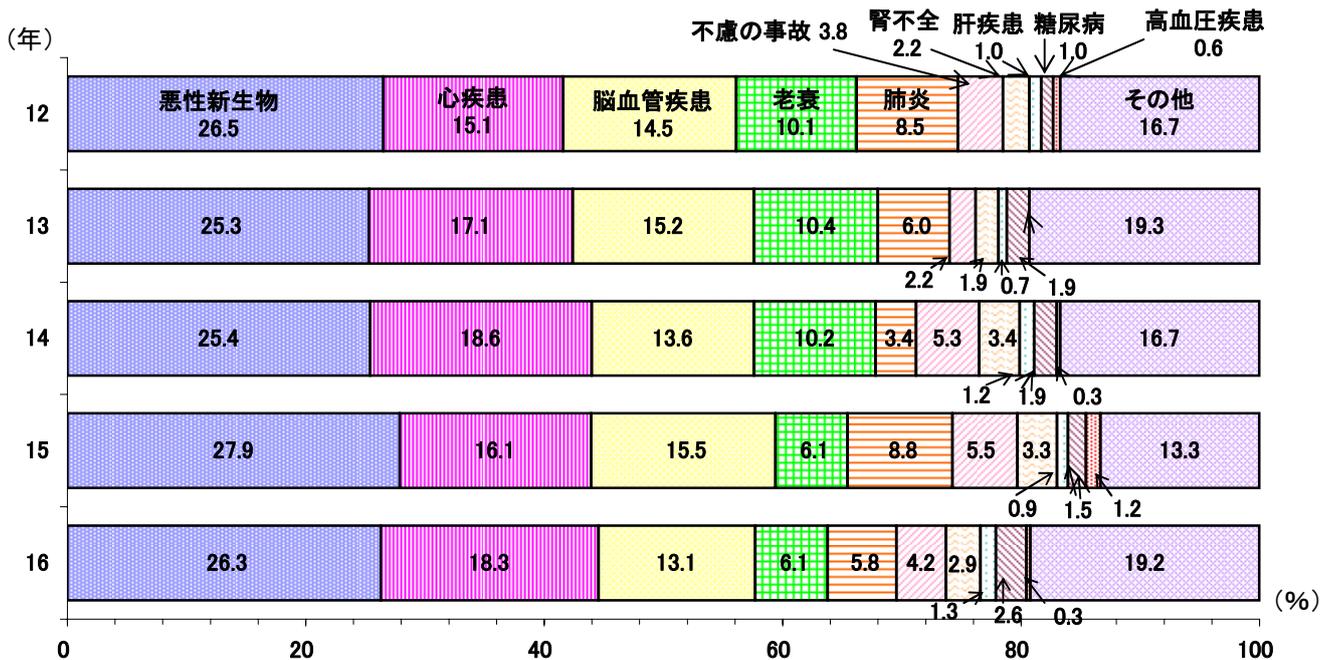
主要死因別死亡者数

(単位：人)

区分	平成8年	9	10	11	12	13	14	15	16
総数	289	325	299	326	317	316	323	330	312
悪性新生物	71	78	67	82	84	80	82	92	82
糖尿病	3	4	4	9	3	6	6	5	8
心疾患	62	50	51	54	48	54	60	53	57
高血圧疾患	—	1	1	—	2	—	1	4	1
脳血管疾患	52	64	60	64	46	48	44	51	41
肺炎	15	22	16	21	27	19	11	29	18
肝疾患	5	4	4	8	3	2	4	3	4
腎不全	5	5	6	12	7	6	11	11	9
老衰	15	29	27	25	32	33	33	20	19
不慮の事故	11	17	14	7	12	7	17	18	13
その他	50	51	49	44	53	61	54	44	60

資料：茨城県保健福祉部厚生総務課

市内死因別死亡者数割合の推移



記事

死因の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は脳血管疾患

2004年における年齢調整死亡率の高い死因は、第1位から第4位までは男女とも同じで、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順である。しかし第5位は、女が不慮の事故に対し男は自殺となって、男女で異なった。男女とも不慮の事故は減少傾向であるが、これは男の自殺率が上昇しているためである。また、男女の死亡率格差は大きい。各死因とも男は女の約2倍の水準で、自殺は3倍である。なお、男女合計で年齢階級別の死因トップは、0歳で先天奇形等、1～19歳は不慮の事故、20～39歳は自殺、40～84歳は悪性新生物、85歳以上は心疾患である。

資料：「統計でみる日本2007」より抜粋

(単位：t)

区分	平成9年度	10	11	12	13	14	15	16	17 下妻 旧千代川		
処理量	8,813	10,714	11,929	12,613	13,020	13,222	13,536	13,700	13,523	1,329	
市収集	可燃ごみ	4,596	5,289	5,933	6,312	6,581	6,720	6,873	6,798	6,652	1,731
	不燃ごみ	802	915	846	810	827	803	782	746	746	130
	粗大ごみ	43	57	60	73	31	35	40	32	29	5
直接搬入	可燃ごみ	2,113	2,885	3,508	3,722	4,085	4,267	4,398	4,900	4,849	614
	不燃ごみ	246	247	264	331	331	293	279	256	242	41
	粗大ごみ	140	232	254	368	334	269	355	273	285	95
資源物	カン・ビン	400	397	354	350	290	265	310	243	208	116
	古紙	425	653	662	592	571	510	430	376	426	125
	ペットボトル	23	32	40	42	51	47	57	63	72	26
処理	焼却	6,709	8,174	9,441	10,034	10,666	10,987	11,271	11,698	11,501	788
	直接処理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	粗大ごみ処理施設	1,251	1,451	1,425	1,582	1,429	1,400	1,455	11,307	1,302	270

(注) 平成9年度より広域のごみ処理施設「クリンポート・きぬ」で処理。
「粗大ごみ処理施設」では粉碎後、選別を行い、資源化等をおこなっている。

資料：生活環境課

下妻地方広域事務組合ごみ処理施設 クリンポート・きぬ

平成9年4月1日から、下妻市・八千代町・石下町(現常総市)・千代川村(現下妻市)のごみを適正に処理するため、最大1日当たり200tを処理できる全連続式のごみ焼却施設と、1日当たり45t処理できる粗大ごみ処理施設を兼ね備えた広域ごみ処理施設「クリンポート・きぬ」が操業を開始しました。

施設のあらまし

● 建設概要

所在地：茨城県下妻市中居指字桑原1100番地
敷地面積：約39,000㎡
着工：平成6年8月10日
竣工：平成9年3月31日
処理能力：ごみ処理施設 100t/24h×2炉
粗大ごみ処理施設 45t/5h

● 建築概要

工場棟

ごみ焼却施設：鉄筋コンクリート造および鉄骨造
地下1階，地上3階
建築面積 3,054㎡ 延床面積6,394㎡

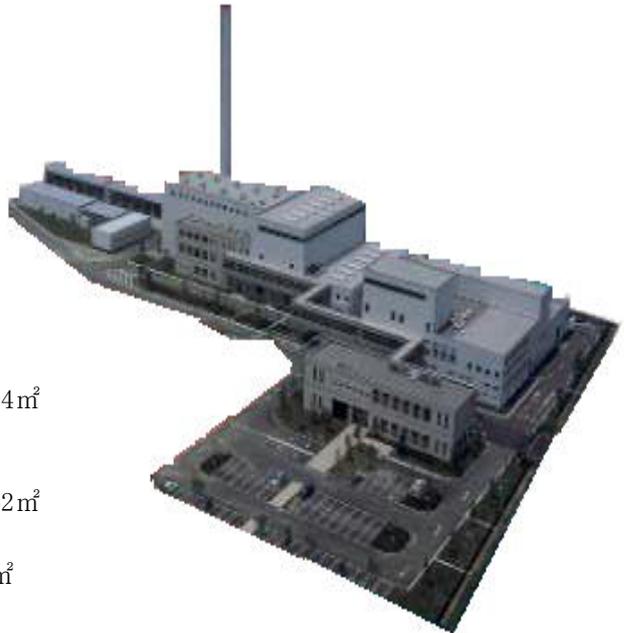
粗大ごみ処理施設：鉄筋コンクリート造および鉄骨造
地下1階，地上3階
建築面積 2,492㎡ 延床面積4,162㎡

管理棟

：鉄筋コンクリート造2階
建築面積 632㎡ 延床面積1,100㎡

煙突

外筒：鉄筋コンクリート造 直径6.6m
内筒：鋼板製2本 直径1.9m
高さ：59m



8

公害苦情発生状況

(単位：件)

区分	平成 9年度	10	11	12	13	14	15	16	17	
									旧下妻 川	旧千代 川
総数	28	20	23	16	54	68	67	97	118	19
ばい煙	3	—	9	6	21	29	24	38	55	5
汚水	—	1	1	2	2	4	2	5	7	2
悪臭	5	3	2	1	6	16	8	22	12	—
騒音	4	2	3	—	2	8	5	3	4	1
振動	—	—	—	1	—	1	1	—	—	1
廃棄物等	7	11	7	5	12	—	—	20	21	8
その他	9	9	1	1	11	10	27	9	19	2

資料：生活環境課

9

砂沼・河川の水質検査結果

(1) 砂 沼

(単位：mg/ℓ)

BODの環境基準値	8mg/ℓ以下	
	採水場所のBOD	
	長 塚 水 門	越戸流入口
採 水 日		
平成 10. 6. 24	1.5	1.1
8. 24	2.0	1.3
11. 7. 21	2.3	1.2
12. 3. 14	1.6	2.4
13. 5. 22	4.2	1.1
14. 3. 25	5.1	4.6
15. 3. 10	1.6	2.1
4. 23	3.5	2.5
16. 2. 25	2.0	2.8
4. 21	3.0	4.2
17. 2. 24	2.3	2.2
4. 26	3.1	1.9
18. 3. 7	3.0 (砂沼大橋)	—

(注 1) 砂沼は環境基準が無い場合、利用目的が農業用水としての河川のD類型と比較した。

(注 2) 環境基準・・・人の健康を保護し、生活環境を保全する上で、維持されることが望ましい基準として国が定めたもので、基準値は行政上の目標である。

mg/ℓ ミリグラムパーリットル (=ppm)：水中の汚濁物質の濃度を表す単位。
1ℓの水の中に汚濁物質が1mg含まれている場合、この物質の濃度は1mg/ℓ (1ppm) である。

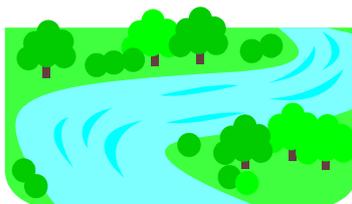


(2) 小 貝 川

(単位：mg/ℓ)

B O D の 環 境 基 準 値	2mg/ℓ以下			
	採水場所のBOD測定値	小貝橋 (貝越)	祝橋 (比毛)	豊原橋 (柳原)
採 水 日				
10. 2. 23	1.7	—	1.5	
8. 24	1.1	1.0	1.6	
11. 3. 24	2.1	2.2	2.7	
8. 23	1.2	1.2	1.5	
13. 9. 25	0.7	0.8	1.0	
14. 2. 25	2.2	1.9	1.9	
8. 28	1.2	1.3	0.9	
15. 2. 27	2.8	2.4	3.0	
8. 28	0.9	1.1	1.2	
16. 2. 25	2.3	2.6	2.9	
9. 29	0.9	0.9	1.2	
17. 2. 24	2.1	2.2	1.5	
8. 23	1.1	0.8	1.1	
18. 3. 7	2.2	2.1	2.3	

資料：生活環境課



(3) 糸 繰 川

(単位：mg/ℓ)

B O D の 環 境 基 準 値	5mg/ℓ以下					
	採水場所のBOD測定値	大神橋 (神明)	宝橋 (平沼)	平橋 (平沼)	昭和橋 (田町)	江尻橋 (堀籠)
採 水 日						
10. 2. 23	2.7	3.0	2.2	1.7	2.6	4.2
8. 24	1.5	1.4	1.8	1.9	1.6	28.0
11. 3. 24	5.1	3.4	3.3	3.1	4.9	12.1
8. 23	1.3	1.5	1.2	2.2	1.8	6.6
13. 7. 23	1.9	2.0	2.2	2.4	2.6	2.5
14. 2. 25	1.9	2.3	3.2	2.9	3.6	7.4
7. 18	1.9	2.7	4.9	2.7	3.4	7.1
15. 2. 27	2.9	2.9	5.8	5.9	5.9	2.0
11. 12	2.0	1.8	2.2	2.1	2.2	3.0
16. 2. 25	3.0	4.6	5.5	8.2	4.5	8.4
8. 9	1.6	3.2	2.4	1.6	1.8	1.2
17. 2. 24	2.5	3.1	2.7	2.4	3.2	3.5
7. 25	1.3	2.3	2.0	3.0	4.9	1.9
18. 3. 7	2.4	2.4	3.3	3.3	4.5	4.0

資料：生活環境課

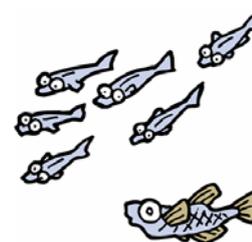
(4) 鬼 怒 川

(単位：mg/ℓ)

B O D の 環 境 基 準 値	2mg/ℓ以下			
	採水場所のB O D測定値	大形橋 (千代川村)	長塚橋 (長塚)	駒城橋 (尻手)
採 水 日				
10. 2. 23	—	—	1.8	1.7
8. 24	—	—	1.0	1.0
11. 17	1.4	—	3.7	1.9
11. 3. 24	—	—	1.9	1.5
8. 23	—	—	0.9	0.8
11. 17	—	—	—	1.3
13. 10. 25	—	—	0.8	0.8
14. 3. 25	—	—	1.5	1.8
8. 28	—	—	0.9	1.1
15. 2. 27	—	—	1.0	1.3
8. 28	—	—	0.9	0.9
16. 1. 29	—	—	1.6	1.6
9. 29	—	—	1.0	1.0
17. 1. 27	—	—	0.9	1.0
8. 23	—	—	0.5	0.6
18. 1. 26	—	—	2.1	1.6

(注) B O D (生物化学的酸素要求量)
 水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素の量をいい、河川の有機汚濁の代表的な指標であり、数値が高くなるほど汚濁が進んでいることを表す。

資料：生活環境課



10

火葬場利用状況

(単位：人)

区 分	総 数	死 体	死 胎
平成8年度	315	0	0
9	310	0	0
10	316	0	0
11	332	0	0
12	341	0	0
13	322	0	0
14	317	0	0
15	316	0	0
16	343	335	8
17 旧下妻	345	341	4
旧千代川	107	106	1

資料：生活環境課